

一昨日、豊浦保育園で発熱、嘔吐などを症状とする欠席が多数いたとのことです。予防には、手洗いはもちろん、体の抵抗力（特に睡眠）をつけておくことが大切です。ご家庭でも手洗いうがいの励行、健康観察、早期受診に努めていただきたいです。よろしくお願いいたします。

● ご家庭で配慮していただきたいこと

- ・ 帰宅後、食事前の手洗い（うがい）をこまめに行い、予防に努める。
- ・ 嘔吐・下痢などがみられ、万が一感染が疑われる場合は早めにかかりつけの医師に受診する。
（お子さんが、前日の夜や朝に嘔吐した場合は、熱がなくても無理をせず、家で安静にしながら様子を見てください。また、食欲がない、腹痛がある場合などは、早めに受診してください。）
- ・ 感染もしくは、その疑いがある場合には、すぐに学校へ連絡する。
- ・ 体調が悪いときは、無理に登校させない。重症化を防ぐには早めの休養が効果的です。お子さんの健康状態をよく観察し、具合が悪いときは無理をして登校させないようにご配慮ください。



● 感染性胃腸炎の場合は…

- 症状：吐き気、嘔吐、下痢、発熱、腹痛など
- 特徴：ウィルスは感染者の嘔吐物や便に含まれ、気づかぬ間に手に付着し感染が広がる。
- 予防：・手洗い、うがいをする（帰宅時、食事前は必ず）
・二次感染の予防を行う ～ 嘔吐した際の対応 ～



①便や嘔吐物を処理するときは、ビニール手袋とマスクをつける。



②紙や新聞紙で便や嘔吐物を覆い、市販の塩素系漂白剤を薄めて消毒する。



③処理後は、石けんと流水で十分に手を洗う。

*約0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液の作り方

ハイター等の家庭用塩素系漂白剤（濃度5～6%）原液10ml+水500mlもしくは原液40ml+水2L

※感染性胃腸炎は、場合によって出席停止になります。